

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																	
YIC情報ビジネス専門学校		平成1年8月24日		校長 中川 達也		〒 754-0021 (住所) 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8354																																	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																	
学校法人YIC学院		平成19年4月1日		理事長 井本 浩二		〒 754-0021 (住所) 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8111																																	
分野		認定課程名		認定学科名		専門士認定年度		高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度																													
工業		工業専門課程		メディアデザイン科		令和4年4月1日適用 令和5年1月27日名称変更		-		令和3年度適用 (平成27年2月25日告示) (令和3年度名称変更)																													
学科の目的		デザイン制作ソフトを使いこなし、ホームページやSNSによる情報発信を行え、Webや映像などのクリエイター職に従事できる人材を育成する。																																					
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		色彩検定、PhotoShopクリエイター能力認定試験、Illustratorクリエイター能力認定試験、Webクリエイター能力認定試験、ビジネス著作権検定、SNSマーケティング検定																																					
修業年限		昼夜		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義		演習		実習		実験		実技																									
2年		昼間		※単位時間、単位いずれかに記入 1,740 単位時間 単位		330 単位時間 単位		1,410 単位時間 単位		単位時間 単位		単位時間 単位		単位時間 単位																									
生徒総定員		生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)																																	
30人		19人		人		%																																	
就職等の状況		<ul style="list-style-type: none"> ■卒業者数(C) : 5人 ■就職希望者数(D) : 4人 ■就職者数(E) : 4人 ■地元就職者数(F) : 2人 ■就職率(E/D) : 100% ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 50% ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 80% ■進学者数 : 0人 ■その他 <p>(令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) Webデザイナー、動画クリエイター、SNSマーケター、広告デザインなど 																																					
第三者による学校評価		<ul style="list-style-type: none"> ■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 				無		<p>評価結果を掲載したホームページURL</p>																															
当該学科のホームページURL		https://www.yic.ac.jp/ib/course/design/																																					
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)		<p>(A: 単位時間による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>1,740 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>180 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>1,740 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>180 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>0 単位時間</td></tr> </table> <p>(B: 単位数による算定)</p> <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>〇〇 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>〇〇 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>〇〇 単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>〇〇 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>〇〇 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>〇〇 単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>〇〇 単位</td></tr> </table>										総授業時数	1,740 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	180 単位時間	うち必修授業時数	1,740 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	180 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間	総授業時数	〇〇 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	〇〇 単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	〇〇 単位	うち必修授業時数	〇〇 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	〇〇 単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	〇〇 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	〇〇 単位
総授業時数	1,740 単位時間																																						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間																																						
うち企業等と連携した演習の授業時数	180 単位時間																																						
うち必修授業時数	1,740 単位時間																																						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間																																						
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	180 単位時間																																						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間																																						
総授業時数	〇〇 単位																																						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	〇〇 単位																																						
うち企業等と連携した演習の授業時数	〇〇 単位																																						
うち必修授業時数	〇〇 単位																																						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	〇〇 単位																																						
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	〇〇 単位																																						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	〇〇 単位																																						

教員の属性（専任教員について記入）	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	人
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	人
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	人
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	1人
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	人
	計	1人
	上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	0人

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
・学科の専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした員会(教育課程編成委員会)を置く。
・審議事項は次の事項とする:カリキュラムの企画・運営・評価、各授業科目の内容・方法の充実及び改善、教科書・教材の選定、教員研修。
・委員会には学校関係者のほか、専攻分野に関する企業等の役員または有識者を1人以上加えることとし、企業等との連携を密にする。(以上 学校法人YIC学院 教育課程編成委員会規則 より抜粋)

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
・「学校法人YIC学院は、設置する専門学校各校の各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会を置く。」(学校法人 YIC学院 教育課程編成委員会規程第2条より)
・カリキュラムは、教育課程編成委員会の意見等を参考に、学内教育課程編成委員会において編成する。教職員会議での検討を経た後、理事会の承認を受け最終決定。
・授業内容・方法の改善・工夫等については、教育課程編成委員会の意見を参考に、可及的速やかに対応する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月31日

名前	所属	任期	種別
本廣敏孝	一般社団法人 山口県情報産業協会 専務理事・事務局長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
佐鹿健治	大村印刷株式会社 ODI事業部 部長代理	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
村田良輔	株式会社スワークス 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
中川 達也	校長		—
河津 道正	副校長		—
日當泰浩	事務長		—
森野茂弘	教務課長		—
豊田菜摘	教務課長補佐		—
辻村忠幸	学科長		—
			—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)
年間2回(6月～8月、2月～3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年7月5日 15:30～16:30

第2回 令和7年2月 予定

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

生成AIを活用した授業をする。色彩3級ではなく2級を目指す。デザインの勉強も重要だが、ターゲットや目的を定めて、コンセプトを元にデザインできるようにする。AIの検定取得。マーケティング能力およびプレゼンテーション能力の強化。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ・山口県内の、学生の住居近くの施設を選定している。
- ・学生の興味分野や就職希望分野（進路）も踏まえ、実習指導者との連携がとれる施設を選定している。
- ・指導者の監督の下、見学・実習を行い職業理解に努める。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

- ・実習、演習においては企業間と「講師派遣契約書」、科目について「覚書」を交わしている。
- ・実習・演習の方法・成績評価の方法について実習指導者・教員・学生間で共有している。
- ・実習期間中は教員が電話あるいは訪問して状況確認を行い、問題があれば対応について協議する。実習指導者が記入する成績

評価表と、実習終了後に行う報告会での報告内容を踏まえ、教員が最終成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
PBL I	カードゲーム企画制作会社と連携し、カードゲームの企画を立案し、プレゼンテーションを実施する。企画内容が良ければ、会社のゲーム企画として採用され制作販売される。	タンサン株式会社
PBL II	中小企業の業務についてヒアリングをおこない課題や問題ごとを掘り起こし、解決するための新しいアイデア発想をする。グループワークを通じたディスカッションができるようにする。	山口県中小企業家同友会
PBL III	中小企業の業務についてヒアリングをおこない課題や問題ごとを掘り起こし、解決するための新しいアイデア発想をする。グループワークを通じたディスカッションができるようにする。	山口県中小企業家同友会

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

(教員の研修等の基本方針)

- ・YICグループ教職員研修規程に基づき計画的に研修を実施している。
- ・常に変化する業界動向に合わせて、技術・知識の確認をするために、企業企画・イベントの参加を推奨している。
- ・資格取得のための研修を推奨している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	Chat GPT講座 ～基礎から応用まで～	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和5年8月21日(月)13:00～15:00	対象:	教職員
内容	ChatGPTに代表される生成系AIについての概要。ChatGPTを業務で使用する場合の可能性と留意点。ChatGPTの簡単な利用。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	LMSやAIを活用した個別最適化の学習方略と退学抑止	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和5年8月22日(火)13:30～15:00	対象:	教員
内容	学習の個別最適化等について。		

研修名:	令和5年度教員及び准教員研修会	連携企業等:	山口県専修学校各種学校協会
期間:	令和5年12月2日(土)14:00～17:00 令和5年12月3日(日)10:00～16:00	対象:	教員
内容	教育入門、教育技術入門、教師論入門、青年心理、教育制度入門、職業教育入門の研修。		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	情報セキュリティ研修	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和6年12月25日13:00~15:00	対象:	教員
内容	情報セキュリティに関する情報提供と簡単なグループワークを通して、日常業務の中で気を付けるポイントの周知徹底		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	キャリア・サポーター養成講座	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和6年8月5日(月)~7日(水) 9:00~17:00	対象:	教員
内容	3日間の研修でキャリアサポーターとしての心構え、および手法を身につけます。知識として身につけるのではなく、キャリアサポーターを実践するためのプログラムです。		

研修名:	ハラスメント研修	連携企業等:	学校法人YIC学院
期間:	令和6年8月23日(金) 14:00~16:00	対象:	教員
内容	事例検証やロールプレイング型の実践研修 ・ハラスメントの定義と種類 ・ハラスメントの事例紹介 ・ハラスメントの防止策 ・教職員としての倫理観		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者評価委員会において、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに当該年度の重点項目を中心に意見等をまとめ報告書を作成していただく。
- ・学校関係者評価委員会からの報告書に基づいて本校の自己点検評価を見直し、次年度の改善計画における重点項目を決定する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2) 学校運営	7 管理運営
(3) 教育活動	2 教育の内容
(4) 学修成果	4 教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	3 教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	5 学生支援
(8) 財務	8 財務
(9) 法令等の遵守	7 管理運営
(10) 社会貢献・地域貢献	6 社会的活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・本校で実施した自己点検評価・改善計画を学校関係者評価委員会に提出し、意見・協議結果をもとに学校機能評価報告をまとめ、年報・ホームページで公開する。改善計画にもとづき学校運営や教育の改善を計画的に行う。
- またシラバスがテキストの目次に基づくものが多く、具体性がない。
- 今後、シラバス・コマシラバスの整備をインストラクショナル・デザインを取り入れて改善していくことに決定した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
福本 百合江	情報工学科 在校生 保護者	令和6(2024)年4月1日～令和8(2026)年3月31日(2年)	保護者代表
高村 奈生人	ビジネス系学科 卒業生 株式会社三知 山口支店	令和5(2023)年4月1日～令和7(2025)年3月31日(2年)	卒業生
阪上 誠	株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社 新卒採用部 部長	令和5(2023)年4月1日～令和7(2025)年3月31日(2年)	企業関係者 (情報工学科)
阿部 誉久	山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター 長	令和5(2023)年4月1日～令和7(2025)年3月31日(2年)	職能団体 (情報ビジネス科)
臼淵 厚史	株式会社 山口グランドホテル 代表取締役社長	令和5(2023)年4月1日～令和7(2025)年3月31日(2年)	企業関係者 (ホテルブライダル科)
兼重 顕治	医療法人 協愛会 阿知須共立病院 事務部経営企画室人材開発グループリーダー	令和5(2023)年4月1日～令和7(2025)年3月31日(2年)	企業関係者 (医療事務学科)
中野 園子	山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 副院長	令和5(2023)年4月1日～令和7(2025)年3月31日(2年)	企業関係者 (ペット総合学科)
井ノ上 隆志	学校法人 鴻城義塾 山口県鴻城高等学校 進路指導部	令和6(2024)年4月1日～令和8(2026)年3月31日(2年)	高校関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL: <https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/>

公表時期: 令和6年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

・「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容(提供する情報の項目例)全てについて、ホームページ上にて情報提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科(コース)等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校の評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL: <https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/>

公表時期: 令和6年7月31日

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			ビジネスマナーⅠ	社会人として求められる基本的なビジネスマナーを実践できる。	1前	30	1	○			○					
2	○			ビジネスマナーⅡ	社会人として模範的なビジネスマナーが実践できる。	1後	30	1	○			○					
3	○			情報リテラシー	情報モラル、情報倫理、情報セキュリティ、情報検索、情報分析、情報発信など、情報リテラシーの基盤となる知識を学び、インターネットやSNSなどの情報ツールを効果的に活用するための実践的なスキルを習得する。	1前	30	1	○			○		○			
4	○			Web基礎	HTML、CSSの基礎を学ぶ。VisualStudioCodeを使い効率よくコーディングを行う。ペライチの簡単なホームページを作成できるようにする。レスポンシブのメディアクエリーの指定が適切に行える。	1前	90	3		○		○		○			
5	○			WebデザインⅠ	VisualStudioCodeを使い効率よくコーディングを行う。XDを使用してデザインカンプを作成し、それに伴ってコーディングしてサイトを作成できるようにする。	1後	90	3		○		○		○			
6	○			Illustrator基礎	Illustratorの基本機能について操作ができるように基本的な事項について説明する。Illustratorクリエイター能力認定試験のスタンダードに合格を目指す。	1前	90	3		○		○		○			
7	○			Photoshop基礎	Web制作上欠かせない写真データ加工の基礎（画像の移動、複製、消去、文字入力、）から色調補正、画像修正、切り抜き合成までを習得し、視覚効果にすぐれた魅力的なイメージ画像の制作までをPhotoshopを使って、演習を中心に行う。	1後	90	3		○		○		○			
8	○			色彩概論Ⅰ	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけて配色調和のバランスをとることができる。	1前	30	1	○			○				○	
9	○			色彩概論Ⅱ	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけて配色調和のバランスをとることができる。	1後	30	1	○			○				○	
10	○			動画制作基礎	動画制作の基本的な知識と技術を学び、短尺の動画作品を制作します。動画の企画、撮影、編集、音響など、動画制作に必要な一連の流れを学び、実際に制作を通してスキルを磨きます。	1前	90	3		○		○				○	
11	○			モーショングラフィックス	モーショングラフィックスの基本的な知識と技術を学び、短尺のアニメーション作品を制作します。モーショングラフィックスの原理、ソフトウェアの使い方、アニメーション表現技法などを学び、実際に制作を通してスキルを磨きます。	1後	60	2		○		○				○	
12	○			デザイン論	デザインの本質と歴史、そして様々なデザイン理論について学びます。具体的なデザイン技法やソフトウェアの使い方を学ぶのではなく、デザインを多角的に理解し、論理的に思考する力を養うことを目的としています。	1後	90	3	○			○				○	
13	○			著作権	クリエイター自身が知っておくべき著作権の基礎知識から、トラブル発生時の対処法までを体系的に学び、権利を守りながら創作活動を進めるためのスキルを習得します。	1前	30	1	○			○		○			

14	○		プレゼンテーション	新たなアイデアを生み出すことのみならず、それを他者に正しく・分かりやすく伝え、説得する・共感を得る能力が求められるようになっている社会状況を鑑み、PBL等も含めた今後の様々な場面で活用できるプレゼンテーションスキルの向上をはかる。	1前	30	1	○		○		○	
15	○		発想技法	ソーシャルスキルを「社会生活に必要な、対人関係を円滑に築き維持するための技術（コツ）」と捉え、それを身に付ける演習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。／新たなアイデアを生み出すことの必要性を理解し、単なるひらめきで終わらずに「発想したものを実社会に落とし込む」ところまでをスキルとして体得する。	1前	30	1	○		○		○	
16	○		P B L I	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。	1後	60	2	○		○	○	○	○
17	○		ビジネスマナーⅢ	就職活動に伴うリクルートスタイル、面接時の受答えを実践できる。	2前	30	1	○		○		○	
18	○		パソコン演習	一般業務で使用されるofficeソフト（Excel、Word）の基本操作を学習する。	2後	30	1	○		○		○	
19	○		WebデザインⅡ	CMSとしてWordPressを使ったWebサイトの構築を行う。	2前	90	3	○		○		○	
20	○		WebデザインⅢ	JavaScriptやPHPなどを使用して高度なWebサイトを制作することができる。	2後	90	3	○		○		○	
21	○		デザイン演習Ⅰ	IllustratorやPhotoshopを使用して、Tシャツデザインコンテストなどのコンペに応募するための作品を制作していく。	2前	90	3	○		○		○	
22	○		デザイン演習Ⅱ	IllustratorやPhotoshopを使用して、Tシャツデザインコンテストなどのコンペに応募するための作品を制作していく。	2後	90	3	○		○		○	
23	○		動画企画演習Ⅰ	PremiereProやAfterEffectなどの動画編集ソフトの基本操作を学習し、使用できるようにしていく。	2前	90	3	○		○		○	
24	○		動画企画演習Ⅱ	PremiereProやAfterEffectなどの動画編集ソフトを使用して、アニメーション制作や動画制作を行う。	2後	90	3	○		○		○	
25	○		Webマーケティング基礎	Webマーケティングの基礎知識を学び、実際にWebサイトの企画・制作、SEO対策、SNS運用などを学びます。	2前	60	2	○		○		○	
26	○		Webマーケティング演習	Webマーケティング基礎で学んだ内容をもとに、目標を設定し、戦略を立案、実行、評価する能力を養います。実務で役立つスキルを習得し、Webマーケティングの全体像を把握します。	2後	60	2	○		○		○	
27	○		P B L II	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。	2前	60	2	○		○	○	○	○

28	○	P B L III	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。	2 後	60	2	○	○	○	○	○
合計				28	科目		1740 単位 (単位時間)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	学則より a. 各学科の定める教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可上であり、卒業必要単位数を修得している。 b. 全ての学費、教材費等が納められていること。 必修科目1740時間	1 学年の学期区分	2 期
履修方法：	履修方法は講義、演習、実習	1 学期の授業期間	16 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。